

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375601651
事業所名	グループホームカリヨンの郷「新千秋」

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	田畑や工場が点在する地域内にあり、近隣住民との関わりの希薄な状態である。自治会に加入し、広報誌から地域の行事などの情報を入手し、夏祭りなど入居者と共に積極的に参加している。ボランティアの訪問や保育園児との交流があり、地域防災訓練会場の提供で協働するなど、地域とは良好な関係が構築されている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	会議は年6回開催し、メンバーは家族代表、入居者代表、自治会会長、地域包括支援センター職員、知見者などで構成されているがオブザーバーの参加もある。議題はホームの運営状況、行事や入居者の様子、外部評価結果の報告の他、メンバーからの意見やアドバイスを話し合い、内容によって速やかに対応し、ホーム運営に反映させている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	行政とのやり取りは、基本的に法人で行なっているが、情報はメールで配信されている。入居者の事務手続きはホームで行い、役所へ出向いた際には、窓口担当者で話し合うなど、情報交換を密にしている。また、地域包括支援センター主催の地域ケア会議をホームで行い、防災について話し合うなど、協働に取り組んでいる。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	ホーム便りを毎月発行し、個人便りも一緒に送付している。日々の入居者の様子を詳細に伝え、安心と信頼を得よう努めている。ホーム行事に合わせて、年2回家族の参加があり、家族間の交流の機会になっている。また、家族の来訪が多く、遠方の家族も毎月訪れ、その際ホーム長、管理者が対応し、意見や要望を聴き、内容によりホームの運営に反映させるよう取り組んでいる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。